

群馬建協

## 地域に存在感を発信

### 第30回道路クリーン作戦



群馬県建設業協会(青柳剛会長)は30日、第30回道路クリーン作戦を開いた。作業人員約2000人、作業車両約550台が出動し、県下一斉

に道路清掃作業と道路パトロールを実施した。拠点地区となった協会渋川支部の出動式で、青柳会長は2017年度の協会行動指針に基づき「建設業界が大きく変わったというメッセージを具体的に発信するのが道路クリーン作戦」と、30年続く地域貢献活動の意義を説いた。写真。

今回も女性職員で組織する「環境すみずみパトロール隊」が参加。新災害情報共有システム「ぐんケン見張るくん」を活用し、作業内容をツイッター

で公開した。関東地方整備局高崎河川国道事務所と群馬県県土整備部が協賛した。

渋川支部の出動式は渋川市の道の駅こもちで開催した。

須田誠一支部長のあいさつに続き、来賓の阿久津貞司渋川市長、堤啓高崎河川国道事務所長らが祝辞を述べた。阿久津市長は「行政と建設業界の力を結集し、安全・安心な地域づくりに協力いただきたい」と期待を寄せた。環境すみずみパトロール隊による活動宣言があり、群馬建協のマスクットキャラクター「ぐんケンくん」も参加し、参加者全員がぐんケン体操で体をほぐした後、地域の清掃などに出動した。